

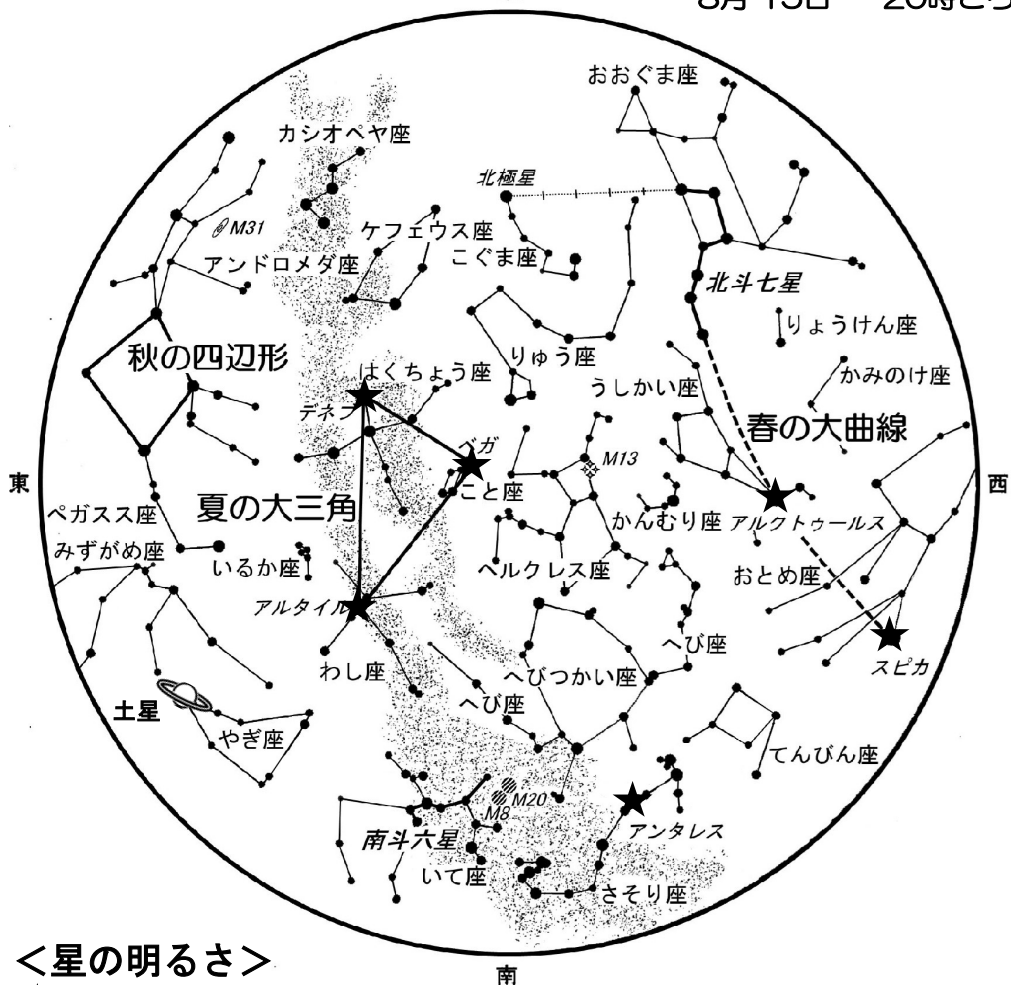
2022年

# 7月・8月の星空

北

<図のように見える時刻>

7月 15日	22時ごろ
8月 1日	21時ごろ
8月 15日	20時ごろ



## 7月・8月の星空

夏休み期間はよい空から真夜中にかけて土星と木星、火星が東の空からのぼり真夜中には南の空にならんで輝きます。天体望遠鏡で土星の環や木星のガリレオ衛星の動きを観察することができます。火星は12月1日に今年一番地球に接近しますから夏休みから大きさの変化を望遠鏡で観察しましょう。8月4日(旧暦七月七日)は伝統的七夕です。おりひめ(こと座の1等星ベガ)とひこぼし(わし座の1等星アルタイル)が一年に一度出会える星まつりの日です。8月13日の明け方はペルセウス座流星群の極大で、私たちと流星が出会えるチャンスです。今年は月明りで夜空が明るく観望条件がよくないのがすこし残念です。よい空に月明りがなくなる8月下旬は天の川との出会いを楽しみましょう。ベガ、アルタイル、はくちょう座1等星デネブをむすんだ「夏の大三角」から南の空に輝くさそり座の1等星アンタレスへと天の川が流れています。都会の空を離れ暗い夜空でぜひご覧ください。

### 天文現象

- 7月14日(木) 今年一番大きな満月
- 7月21日(木) 東北・北海道で火星食あり、札幌で23:43潜入、24:32出現。東京は24:15出現のみ
- 8月 4日(木) 伝統的七夕(旧暦七月七日)
- 8月13日(土) 明け方にペルセウス座流星群が極大、月で夜空が明るい
- 8月15日(月) 土星が一晩中見やすいころ
- 8月28日(日) 水星が東方最大離角で日没後の西空に見える

### <月>

- |        |       |    |   |
|--------|-------|----|---|
| 7月 7日、 | 8月 5日 | 上弦 | ☾ |
| 7月14日  | 8月12日 | 満月 | ☽ |
| 7月20日  | 8月19日 | 下弦 | ☾ |
| 7月29日、 | 8月27日 | 新月 | ● |

### <星の明るさ>

- ★ 1等星以上の明るい星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下の暗い星

参考資料: Hoshi Wa Subaru

### <使い方>

この図を頭の上にかざし、方角をあわせて星空とくらべて見ます。  
星の明るさや天体は左を参考にしてください。

### <星雲・星団・銀河>

- |       |          |             |
|-------|----------|-------------|
| ☄ M8  | 干潟星雲     | 距離: 3900光年  |
| ☄ M13 | 球状星団     | 距離: 2.51万光年 |
| ☄ M20 | 三裂星雲     | 距離: 5600光年  |
| ☄ M31 | アンドロメダ銀河 | 距離: 250万光年  |

### 星空クイズ

ハッブル宇宙望遠鏡に代わる新世代のジェイムズ ウェッブ宇宙望遠鏡の反射鏡の大きさは何メートルでしょう。

- A. 2.4メートル      B. 6.5メートル      C. 8.2メートル

ヒント: 大人の身長約4倍ほどです。

## コスモプラネタリウム渋谷

TEL 03-3464-2131 URL <http://www.shibu-cul.jp>

